



平成 24 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 日本シイエムケイ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 兼本 国昭  
(コード番号 6958 東証第 1 部)  
問合せ先 執行役員経営企画部長 小口 高哉  
(TEL. 03-5323-0232)

### 業績予想の修正、特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 11 月 2 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 24 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

|                              | 売 上 高         | 営 業 利 益      | 経 常 利 益    | 当 期 純 利 益  | 1 株 当 たり<br>当 期 純 利 益 |
|------------------------------|---------------|--------------|------------|------------|-----------------------|
| 前回発表予想 (A)                   | 百万円<br>87,000 | 百万円<br>1,500 | 百万円<br>200 | 百万円<br>300 | 円 銭<br>5.11           |
| 今回修正予想 (B)                   | 80,500        | 1,000        | 100        | △4,100     | △69.79                |
| 増 減 額 (B - A)                | △6,500        | △500         | △100       | △4,400     | —                     |
| 増 減 率 ( % )                  | △7.5          | △33.3        | △50.0      | —          | —                     |
| (ご参考) 前期実績<br>(平成 23 年 3 月期) | 87,023        | △1,041       | △1,991     | △5,726     | △97.48                |

#### 2. 修正の理由

依然として厳しい経営環境が続く中、販売面では、震災復興にともなう需要の急拡大を想定しておりましたがその規模は予想を下回り、またタイの洪水の影響もあり、結果として自動車関連製品とデジタル家電の受注が想定を下回る見込です。また長引く円高の影響による需要の減少、海外競合他社との価格競争激化もあり、売上高は前回予想に比べ 65 億円減少の 805 億円となる見込です。

利益面については、グループ全体での徹底的なコスト削減と生産効率化を推進したこと、海外生産拠点での操業率が改善したこと等が功を奏し、第 3 四半期以降の収益は回復基調にあります。上期の営業赤字の影響が大きく、営業利益は当初予想を 5 億円下回る見込です。経常損益は、円高による為替評価損の影響が大きく、前回予想から 1 億円減少する見込です。

当期純損益は、事業構造転換の一時費用の計上と、繰延税金資産の見直し等により、前回予想に比べ 44 億円悪化の 41 億円の損失となる見込です。

#### 3. 特別損失の計上について

世界的経済環境の変化を背景に、顧客の海外生産シフトが加速する一方で、競合他社との価格競争がますます厳しくなるものと思われま。当社は、この様な経営環境の変化に対応して、国内の事業構造を転換する必要があると判断し、平成 24 年 3 月期に、国内の設備処分や事業統廃合の為の事業構造転換に関する費用 30 億円を特別損失として計上する見込です。事業構造転換についての詳細は現在策定中であり、確定次第お知らせします。尚、当社は今後 3 ヶ年の事業戦略に基づき中期経営計画を策定しましたので、併せてご参照願います。

(注) 本資料の業績予想の見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上